

平成 27 年度 病院事業決算状況

都道府県名 福岡県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	精神医療センター太宰府病院	2
北九州市	門司病院	3
北九州市	医療センター	4
北九州市	八幡病院	5
福岡市	福岡市立こども病院	6
福岡市	福岡市民病院	7
大牟田市	総合病院	8
飯塚市	飯塚市立病院	9
田川市	市立病院	10
筑後市	市立病院	11
中間市	市立病院	12
芦屋町	芦屋中央病院	13
小竹町	小竹町立病院	14
鞍手町	町立病院	15
糸田町	緑ヶ丘病院	16
川崎町	町立病院	17
公立八女総合病院企業団	公立八女総合病院	18
公立八女総合病院企業団	みどりの杜病院	19

病院事業決算状況 (27年度)				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	
				病院名	精神医療センター太宰府病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,831 m ²	指定病院の状況	臨		
診療科数	5	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	300	84.9	85.2	77.6
感染症	-	-	-	-
計	300	84.9	85.2	77.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,101,556	
決算規模(千円)	1,669,152,789	
標準財政規模(千円)	982,964,142	
財政力指数	0.61836	
経常収支比率(%)	96.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.1
	将来負担比率(%)	240.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.2
修正医業収支金額(千円)	2,075,223

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,306,393			
1 経常収益	2,203,639			
(1) 医業収益	2,075,223			
入院収益	1,764,171			
外来収益	291,166			
診療収入計	2,055,337			
その他医業収益	19,886			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	128,416			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	3,333			
(うち長期前受金戻入)	123,451			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	102,754			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,510,362			
2 経常費用	2,492,766			
(1) 医業費用	2,379,305			
職員給与費	15,754	0.8	54.5	92.3
材料費	-	-	24.1	9.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	6.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	1.1
減価償却費	204,893	9.9	9.0	12.2
経費	2,158,121	104.0	23.3	32.5
(うち委託料)	19,460	0.9	10.8	15.4
研究研修費	-			
資産減耗費	537			
(2) 医業外費用	113,461			
(うち支払利息)	107,633	5.2	1.9	3.8
(3) 特別損失	17,596			
損益				
経常損益	-289,127			
純損益	-203,969			
累積欠損金	2,501,490			
経常収支比率	88.4		98.7	99.9
医業収支比率	87.2		89.5	68.0
他会計繰入金対経常収益比率	0.2		12.0	32.5
他会計繰入金対医業収益比率	0.2		14.0	50.1
他会計繰入金対総収益比率	0.1		12.3	32.2
実質収益対経常費用比率	88.3		86.8	67.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,953,737
1 固定資産	3,848,874
(1) 有形固定資産	3,848,029
(2) 無形固定資産	845
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,104,863
(1) 現金及び預金	636,706
(2) 未収金及び未収収益	510,181
(3) 貸倒引当金()	43,024
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,339,691
1 固定負債	4,711,480
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,688,665
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	22,815
(7) リース債務	-
2 流動負債	368,440
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	324,805
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,446
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	40,117
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	259,771
(1) 長期前受金	1,164,910
(2) 長期前受金収益化累計額()	905,139
資本合計	-385,954
1 資本金	1,198,746
2 剰余金	-1,584,700
(1) 資本金剰余金	916,790
(2) 利益剰余金	-2,501,490
負債・資本合計	4,953,737
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	385,954
資本不足額(繰延収益控除後)()	126,183
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	353,333	3,333
資本勘定繰入	212,155	212,155
計	565,488	215,488

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	120.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	北九州市
	病院名	門司病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,196 m ²	指定病院の状況	
診療科数	14	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	50	87.6	91.7	93.3
療養	50	89.2	91.0	93.4
結核	55	53.2	40.1	53.1
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	155	75.9	73.2	79.1
平均在院日数(一般病床のみ)		24.1	24.4	27.3

設立団体の状況		
人口(人)	961,286	
決算規模(千円)	544,973,643	
標準財政規模(千円)	248,705,187	
財政力指数	0.72	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.6
	将来負担比率(%)	188.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.7
修正医業収支金額(千円)	2,499

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	251,556			
1 経常収益	251,556			
(1) 医業収益	2,499			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	2,499			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	249,057			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	241,863			
(うち長期前受金戻入)	3,677			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	455,782			
2 経常費用	454,401			
(1) 医業費用	375,085			
職員給与費	-	-	54.5	58.9
材料費	-	-	24.1	18.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	7.4
減価償却費	184,999	7402.9	9.0	9.6
経費	188,278	7534.1	23.3	30.8
(うち委託料)	400	16.0	10.8	12.1
研究研修費	-			
資産減耗費	1,808			
(2) 医業外費用	79,316			
(うち支払利息)	62,795	2512.8	1.9	2.0
(3) 特別損失	1,381			
損益				
経常損益	-202,845			
純損益	-204,226			
累積欠損金	15,938,157			
経常収支比率	55.4		98.7	98.1
医業収支比率	0.7		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	96.1		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	9678.4		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	96.1		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	2.1		86.8	83.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,852,116
1 固定資産	12,879,047
(1) 有形固定資産	12,873,241
(2) 無形固定資産	4,516
(3) 投資その他の資産	1,290
2 流動資産	5,973,069
(1) 現金及び預金	335,116
(2) 未収金及び未収収益	3,904,817
(3) 貸倒引当金()	29,948
(4) 貯蔵品	82,129
3 繰延資産	-
負債合計	19,635,686
1 固定負債	12,738,502
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,853,345
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	400,000
(6) 引当金	485,157
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,729,346
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,710,004
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	718,079
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,269,024
(9) 前受金及び前受収益	157
3 繰延収益	167,838
(1) 長期前受金	711,883
(2) 長期前受金収益化累計額()	544,045
資本合計	-783,570
1 資本金	33,258,795
2 剰余金	-34,042,365
(1) 資本金剰余金	153,592
(2) 利益剰余金	-34,195,957
負債・資本合計	18,852,116
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	783,570
資本不足額(繰延収益控除後)()	615,732
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	241,863	241,863
資本勘定繰入	-	-
計	241,863	241,863

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	155.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	北九州市
	病院名	医療センター

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	37,416 m ²	指定病院の状況	臨が感災地輪
診療科数	25	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	620	71.7	74.0	74.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	16	-	-	-
計	636	69.9	72.2	73.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	14.9	15.8

設立団体の状況		
人口(人)	961,286	
決算規模(千円)	544,973,643	
標準財政規模(千円)	248,705,187	
財政力指数	0.72	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.6
	将来負担比率(%)	188.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,924,324			
1 経常収益	15,910,822			
(1) 医業収益	14,896,758			
入院収益	9,741,605			
外来収益	4,881,551			
診療収入計	14,623,156			
その他医業収益	273,602			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,014,064			
(うち国・都道府県補助金)	36,470			
(うち他会計補助・負担金)	737,052			
(うち長期前受金戻入)	7,873			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,502			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,588,036			
2 経常費用	16,444,088			
(1) 医業費用	15,554,535			
職員給与費	7,300,358	49.0	54.5	49.7
材料費	4,524,656	30.4	24.1	27.4
(うち薬品費)	2,988,851	20.1	12.6	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,532,423	10.3	11.0	12.6
減価償却費	888,625	6.0	9.0	8.6
経費	2,752,755	18.5	23.3	20.4
(うち委託料)	1,112,589	7.5	10.8	11.0
研究研修費	66,872			
資産減耗費	21,269			
(2) 医業外費用	889,553			
(うち支払利息)	139,160	0.9	1.9	1.7
(3) 特別損失	143,948			
損益				
経常損益	-533,266			
純損益	-663,712			
累積欠損金	12,235,789			
経常収支比率	96.8		98.7	100.0
医業収支比率	95.8		89.5	93.7
他会計繰入金対経常収益比率	4.6		12.0	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	4.9		14.0	10.3
他会計繰入金対総収益比率	4.6		12.3	9.1
実質収益対経常費用比率	92.3		86.8	90.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,852,116
1 固定資産	12,879,047
(1) 有形固定資産	12,873,241
(2) 無形固定資産	4,516
(3) 投資その他の資産	1,290
2 流動資産	5,973,069
(1) 現金及び預金	335,116
(2) 未収金及び未収収益	3,904,817
(3) 貸倒引当金()	29,948
(4) 貯蔵品	82,129
3 繰延資産	-
負債合計	19,635,686
1 固定負債	12,738,502
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,853,345
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	400,000
(6) 引当金	485,157
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,729,346
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,710,004
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	718,079
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,269,024
(9) 前受金及び前受収益	157
3 繰延収益	167,838
(1) 長期前受金	711,883
(2) 長期前受金収益化累計額()	544,045
資本合計	-783,570
1 資本金	33,258,795
2 剰余金	-34,042,365
(1) 資本金剰余金	153,592
(2) 利益剰余金	-34,195,957
負債・資本合計	18,852,116
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	783,570
資本不足額(繰延収益控除後)()	615,732
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.8
修正医業収支金額(千円)	14,896,758

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	737,052	737,052
資本勘定繰入	662,672	662,672
計	1,399,724	1,399,724

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	155.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	北九州市
				病院名	八幡病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,503 m ²	指定病院の状況	救臨 災		
診療科数	18	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	439	54.2	58.6	57.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	439	54.2	58.6	57.2
平均在院日数（一般病床のみ）		10.6	12.3	12.2

設立団体の状況		
人口（人）	961,286	
決算規模（千円）	544,973,643	
標準財政規模（千円）	248,705,187	
財政力指数	0.72	
経常収支比率（%）	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.6
	将来負担比率（%）	188.3

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,344,818			
1 経常収益	7,297,598			
(1) 医業収益	7,093,256			
入院収益	4,384,313			
外来収益	1,229,808			
診療収入計	5,614,121			
その他医業収益	1,479,135			
(うち他会計負担金)	1,369,077			
(2) 医業外収益	204,342			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	148,909			
(うち長期前受金戻入)	3,438			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	47,220			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,628,296			
2 経常費用	7,557,001			
(1) 医業費用	7,346,274			
職員給与費	4,373,174	61.7	54.5	53.1
材料費	891,339	12.6	24.1	25.1
(うち薬品費)	323,574	4.6	12.6	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	565,723	8.0	11.0	11.8
減価償却費	410,970	5.8	9.0	8.8
経費	1,629,755	23.0	23.3	21.3
(うち委託料)	662,225	9.3	10.8	8.7
研究研修費	33,754			
資産減耗費	7,282			
(2) 医業外費用	210,727			
(うち支払利息)	24,026	0.3	1.9	1.8
(3) 特別損失	71,295			
損益				
経常損益	-259,403			
純損益	-283,478			
累積欠損金	6,022,011			
経常収支比率	96.6		98.7	98.7
医業収支比率	96.6		89.5	91.8
他会計繰入金対経常収益比率	20.8		12.0	10.4
他会計繰入金対医業収益比率	21.4		14.0	11.8
他会計繰入金対総収益比率	20.7		12.3	10.5
実質収益対経常費用比率	76.5		86.8	88.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	18,852,116
1 固定資産	12,879,047
(1) 有形固定資産	12,873,241
(2) 無形固定資産	4,516
(3) 投資その他の資産	1,290
2 流動資産	5,973,069
(1) 現金及び預金	335,116
(2) 未収金及び未収収益	3,904,817
(3) 貸倒引当金（ ）	29,948
(4) 貯蔵品	82,129
3 繰延資産	-
負債合計	19,635,686
1 固定負債	12,738,502
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,853,345
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	400,000
(6) 引当金	485,157
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,729,346
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,710,004
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	718,079
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,269,024
(9) 前受金及び前受収益	157
3 繰延収益	167,838
(1) 長期前受金	711,883
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	544,045
資本合計	-783,570
1 資本金	33,258,795
2 剰余金	-34,042,365
(1) 資本金剰余金	153,592
(2) 利益剰余金	-34,195,957
負債・資本合計	18,852,116
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	783,570
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	615,732
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	77.9
修正医業収支金額（千円）	5,724,179

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,517,986	1,517,986
資本勘定繰入	181,113	181,113
計	1,699,099	1,699,099

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	155.5
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	福岡市
		病院名	福岡市立こども病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	1,538,681	
決算規模（千円）	784,393,260	
標準財政規模（千円）	357,652,638	
財政力指数	0.88	
経常収支比率（%）	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.4
	将来負担比率（%）	162.4

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	83,506			
1 経常収益	83,506			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	83,506			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	83,506			
2 経常費用	83,506			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	57.6
材料費	-	-	24.1	20.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.8
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	27.2
(うち委託料)	-	-	10.8	11.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	83,506			
(うち支払利息)	83,506	-	1.9	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	96.6
医業収支比率	-		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	83.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	福岡市
	病院名	福岡市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,681	
決算規模(千円)	784,393,260	
標準財政規模(千円)	357,652,638	
財政力指数	0.88	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	162.4

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	65,463			
1 経常収益	65,463			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	65,463			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	65,463			
2 経常費用	65,463			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	57.6
材料費	-	-	24.1	20.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.8
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	27.2
(うち委託料)	-	-	10.8	11.2
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	65,463			
(うち支払利息)	65,463	-	1.9	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	96.6
医業収支比率	-		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	83.9

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	大牟田市
	病院名	総合病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27 年度	26 年度	25 年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	117,360	
決算規模(千円)	56,581,864	
標準財政規模(千円)	28,452,452	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	77.9

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	221,557			
1 経常収益	221,557			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	221,557			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	221,557			
2 経常費用	221,557			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	55.3
材料費	-	-	24.1	24.2
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.5
減価償却費	-	-	9.0	8.8
経費	-	-	23.3	21.7
(うち委託料)	-	-	10.8	10.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	221,557			
(うち支払利息)	221,557	-	1.9	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	97.6
医業収支比率	-		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	86.9

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27 年度	-	-
26 年度	-	-
25 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	飯塚市
	病院名	飯塚市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	30,671 m ²	指定病院の状況	救臨へ輪
診療科数	15	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	250	76.8	63.4	65.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	76.8	63.4	65.6
平均在院日数(一般病床のみ)		20.9	18.4	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	129,146	
決算規模(千円)	67,124,280	
標準財政規模(千円)	33,450,310	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.0
	将来負担比率(%)	14.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	430,026			
1 経常収益	429,425			
(1) 医業収益	214,741			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	214,741			
(うち他会計負担金)	214,741			
(2) 医業外収益	214,684			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	6,644			
(うち長期前受金戻入)	175,067			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	601			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	531,789			
2 経常費用	531,789			
(1) 医業費用	492,573			
職員給与費	-	-	54.5	57.6
材料費	-	-	24.1	20.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.8
減価償却費	274,941	128.0	9.0	9.3
経費	214,741	100.0	23.3	27.2
(うち委託料)	-	-	10.8	11.2
研究研修費	-	-		
資産減耗費	2,891			
(2) 医業外費用	39,216			
(うち支払利息)	29,800	13.9	1.9	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-102,364			
純損益	-101,763			
累積欠損金	208,372			
経常収支比率	80.8		98.7	96.6
医業収支比率	43.6		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	51.6		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	103.1		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	51.5		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	39.1		86.8	83.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,651,381
1 固定資産	4,630,026
(1) 有形固定資産	4,629,776
(2) 無形固定資産	250
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	21,355
(1) 現金及び預金	21,355
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,485,252
1 固定負債	3,275,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,275,846
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	161,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	144,205
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	17,324
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	47,877
(1) 長期前受金	354,012
(2) 長期前受金収益化累計額()	306,135
資本合計	1,166,129
1 資本金	1,226,640
2 剰余金	-60,511
(1) 資本剰余金	147,861
(2) 利益剰余金	-208,372
負債・資本合計	4,651,381
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	221,385	221,385
資本勘定繰入	86,711	86,711
計	308,096	308,096

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	97.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	田川市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,810 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 輪		
診療科数	17	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	334	60.1	59.1	63.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	-	-	-
計	342	58.7	57.7	61.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.3	14.1

設立団体の状況		
人口(人)	48,441	
決算規模(千円)	28,048,210	
標準財政規模(千円)	13,266,853	
財政力指数	0.40	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.3
修正医業収支金額(千円)	5,057,579

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,206,321			
1 経常収益	5,950,158			
(1) 医業収益	5,171,656			
入院収益	3,505,321			
外来収益	1,437,705			
診療収入計	4,943,026			
その他医業収益	228,630			
(うち他会計負担金)	114,077			
(2) 医業外収益	778,502			
(うち国・都道府県補助金)	10,128			
(うち他会計補助・負担金)	539,526			
(うち長期前受金戻入)	206,327			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	256,163			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,652,599			
2 経常費用	5,644,301			
(1) 医業費用	5,364,093			
職員給与費	2,724,074	52.7	54.5	55.3
材料費	1,098,417	21.2	24.1	24.2
(うち薬品費)	369,507	7.1	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	728,910	14.1	11.0	11.5
減価償却費	329,584	6.4	9.0	8.8
経費	1,178,780	22.8	23.3	21.7
(うち委託料)	649,402	12.6	10.8	10.3
研究研修費	26,463			
資産減耗費	6,775			
(2) 医業外費用	280,208			
(うち支払利息)	117,384	2.3	1.9	2.1
(3) 特別損失	8,298			
損益				
経常損益	305,857			
純損益	553,722			
累積欠損金	1,816,409			
経常収支比率	105.4		98.7	97.6
医業収支比率	96.4		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.0		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.6		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	10.5		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	93.8		86.8	86.9

備考：「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,213,794
1 固定資産	5,840,899
(1) 有形固定資産	5,840,899
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,372,895
(1) 現金及び預金	683,676
(2) 未収金及び未収収益	683,826
(3) 貸倒引当金()	24,268
(4) 貯蔵品	28,591
3 繰延資産	-
負債合計	8,763,835
1 固定負債	7,470,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,539,019
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	931,080
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,214,371
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	639,109
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	162,656
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	391,852
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	79,365
(1) 長期前受金	5,701,496
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,622,131
資本合計	-1,550,041
1 資本金	248,911
2 剰余金	-1,798,952
(1) 資本剰余金	17,457
(2) 利益剰余金	-1,816,409
負債・資本合計	7,213,794
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,550,041
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,470,676
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	653,603	653,603
資本勘定繰入	388,432	388,432
計	1,042,035	1,042,035

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	筑後市
		病院名	市立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	48,339	
決算規模（千円）	18,360,873	
標準財政規模（千円）	10,281,933	
財政力指数	0.61	
経常収支比率（%）	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.7
	将来負担比率（%）	45.8

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	69,762			
1 経常収益	69,762			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	69,762			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	69,762			
2 経常費用	69,762			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	57.6
材料費	-	-	24.1	20.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.8
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	27.2
(うち委託料)	-	-	10.8	11.2
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	69,762			
(うち支払利息)	69,762	-	1.9	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	96.6
医業収支比率	-		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	83.9

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	中間市
	病院名	市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	6,302 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	9	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	122	52.4	52.8	52.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	122	52.4	52.8	52.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.4	17.8	22.7

設立団体の状況		
人口(人)	41,796	
決算規模(千円)	17,802,015	
標準財政規模(千円)	9,760,966	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	95.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.5
	将来負担比率(%)	71.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.0
修正医業収支金額(千円)	1,855,655

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,085,595			
1 経常収益	2,085,342			
(1) 医業収益	1,903,449			
入院収益	720,334			
外来収益	1,081,916			
診療収入計	1,802,250			
その他医業収益	101,199			
(うち他会計負担金)	47,794			
(2) 医業外収益	181,893			
(うち国・都道府県補助金)	13,053			
(うち他会計補助・負担金)	93,072			
(うち長期前受金戻入)	68,251			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	253			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,062,162			
2 経常費用	2,055,382			
(1) 医業費用	1,973,210			
職員給与費	982,678	51.6	54.5	58.9
材料費	604,482	31.8	24.1	18.0
(うち薬品費)	510,545	26.8	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	77,247	4.1	11.0	7.4
減価償却費	92,716	4.9	9.0	9.6
経費	287,440	15.1	23.3	30.8
(うち委託料)	100,070	5.3	10.8	12.1
研究研修費	4,058			
資産減耗費	1,836			
(2) 医業外費用	82,172			
(うち支払利息)	16,618	0.9	1.9	2.0
(3) 特別損失	6,780			
損益				
経常損益	29,960			
純損益	23,433			
累積欠損金	293,183			
経常収支比率	101.5		98.7	98.1
医業収支比率	96.5		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.8		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	7.4		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	6.8		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	94.6		86.8	83.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,005,283
1 固定資産	661,905
(1) 有形固定資産	661,214
(2) 無形固定資産	691
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	343,378
(1) 現金及び預金	1,382
(2) 未収金及び未収収益	326,660
(3) 貸倒引当金()	1,667
(4) 貯蔵品	16,403
3 繰延資産	-
負債合計	1,119,584
1 固定負債	546,759
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	512,102
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	34,657
(7) リース債務	-
2 流動負債	373,908
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	84,383
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	60,451
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	37,889
(8) 未払金及び未払費用	188,795
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	198,917
(1) 長期前受金	1,562,278
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,363,361
資本合計	-114,301
1 資本金	94,571
2 剰余金	-208,872
(1) 資本金剰余金	82,811
(2) 利益剰余金	-291,683
負債・資本合計	1,005,283
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	114,301
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	140,866	140,866
資本勘定繰入	50,211	50,211
計	191,077	191,077

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	芦屋町
	病院名	芦屋中央病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	78.6	75.7
療養	-	-	76.0	60.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	77.8	71.1
平均在院日数(一般病床のみ)		-	21.0	22.8

設立団体の状況		
人口(人)	14,208	
決算規模(千円)	8,201,487	
標準財政規模(千円)	3,723,178	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	-

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,562			
1 経常収益	5,562			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	5,562			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,562			
2 経常費用	5,562			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	58.9
材料費	-	-	24.1	18.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	7.4
減価償却費	-	-	9.0	9.6
経費	-	-	23.3	30.8
(うち委託料)	-	-	10.8	12.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	5,562			
(うち支払利息)	5,562	-	1.9	2.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	98.1
医業収支比率	-		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	83.3

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考:
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	小竹町
	病院名	小竹町立病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	56	58.5	64.8	81.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	58.5	64.8	81.7
平均在院日数(一般病床のみ)		58.5	52.6	36.6

設立団体の状況		
人口(人)	7,810	
決算規模(千円)	5,306,854	
標準財政規模(千円)	2,754,861	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	95.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.3
	将来負担比率(%)	78.2

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,759 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	4	看護配置	15:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.4
修正医業収支金額(千円)	395,634

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	506,306			
1 経常収益	505,977			
(1) 医業収益	459,228			
入院収益	243,625			
外来収益	139,410			
診療収入計	383,035			
その他医業収益	76,193			
(うち他会計負担金)	63,594			
(2) 医業外収益	46,749			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	31,402			
(うち長期前受金戻入)	13,948			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	329			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	541,357			
2 経常費用	537,886			
(1) 医業費用	524,692			
職員給与費	375,396	81.7	54.5	66.5
材料費	49,818	10.8	24.1	18.1
(うち薬品費)	16,781	3.7	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,467	5.3	11.0	5.6
減価償却費	21,382	4.7	9.0	11.3
経費	74,364	16.2	23.3	30.5
(うち委託料)	26,766	5.8	10.8	11.7
研究研修費	1,241			
資産減耗費	2,491			
(2) 医業外費用	13,194			
(うち支払利息)	2,043	0.4	1.9	2.4
(3) 特別損失	3,471			
損益				
経常損益	-31,909			
純損益	-35,051			
累積欠損金	133,642			
経常収支比率	94.1		98.7	97.7
医業収支比率	87.5		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	18.8		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	20.7		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	18.8		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	76.4		86.8	76.6

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	462,927
1 固定資産	347,291
(1) 有形固定資産	347,139
(2) 無形固定資産	152
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	115,636
(1) 現金及び預金	55,238
(2) 未収金及び未収収益	57,914
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,173
3 繰延資産	-
負債合計	540,022
1 固定負債	139,559
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,262
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	128,297
(7) リース債務	-
2 流動負債	239,168
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,499
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	9,786
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	200,000
(8) 未払金及び未払費用	20,883
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	161,295
(1) 長期前受金	267,094
(2) 長期前受金収益化累計額()	105,799
資本合計	-77,095
1 資本金	53,633
2 剰余金	-130,728
(1) 資本剰余金	2,914
(2) 利益剰余金	-133,642
負債・資本合計	462,927
不良債務	115,033
実質資金不足額	115,033
資金不足額()	77,095
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	125,907	94,996
資本勘定繰入	15,028	30,004
計	140,935	125,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	115,033	25.0
26年度	75,633	14.8
25年度	86,075	14.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.1
健全化法上の資金不足額(千円)	105,247
健全化法上の資金不足比率(%)	22.9
地財法上の資金不足額(千円)	105,247
地財法上の資金不足比率(%)	22.9

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (27 年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	鞍手町
	病院名	町立病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	16,007	
決算規模（千円）	7,519,821	
標準財政規模（千円）	4,487,823	
財政力指数	0.45	
経常収支比率（%）	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.3
	将来負担比率（%）	-

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,595			
1 経常収益	14,595			
（1）医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
（うち他会計負担金）	-			
（2）医業外収益	14,595			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	-			
（うち長期前受金戻入）	-			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	14,595			
2 経常費用	14,595			
（1）医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	57.6
材料費	-	-	24.1	20.9
（うち薬品費）	-	-	12.6	10.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	-	-	11.0	9.8
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	27.2
（うち委託料）	-	-	10.8	11.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
（2）医業外費用	14,595			
（うち支払利息）	14,595	-	1.9	2.1
（3）特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	96.6
医業収支比率	-		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	83.9

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
（1）有形固定資産	-
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
2 流動資産	-
（1）現金及び預金	-
（2）未収金及び未収収益	-
（3）貸倒引当金（ ）	-
（4）貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	-
（7）リース債務	-
2 流動負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	-
（9）前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
（1）長期前受金	-
（2）長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	糸田町
				病院名	緑ヶ丘病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,798 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	6	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	54	76.2	79.0	80.2
療養	45	69.3	65.0	63.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	73.0	72.6	72.4
平均在院日数（一般病床のみ）		34.4	38.2	36.0

設立団体の状況		
人口（人）	9,020	
決算規模（千円）	4,783,669	
標準財政規模（千円）	2,744,771	
財政力指数	0.22	
経常収支比率（%）	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	6.4
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	75.8
修正医業収支金額（千円）	635,253

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	766,671			
1 経常収益	766,671			
(1) 医業収益	706,674			
入院収益	422,019			
外来収益	189,180			
診療収入計	611,199			
その他医業収益	95,475			
(うち他会計負担金)	71,421			
(2) 医業外収益	59,997			
(うち国・都道府県補助金)	4,205			
(うち他会計補助・負担金)	48,579			
(うち長期前受金戻入)	4,989			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	840,303			
2 経常費用	840,303			
(1) 医業費用	838,574			
職員給与費	592,154	83.8	54.5	66.5
材料費	98,393	13.9	24.1	18.1
(うち薬品費)	50,146	7.1	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,780	4.6	11.0	5.6
減価償却費	27,539	3.9	9.0	11.3
経費	119,099	16.9	23.3	30.5
(うち委託料)	39,626	5.6	10.8	11.7
研究研修費	1,189			
資産減耗費	200			
(2) 医業外費用	1,729			
(うち支払利息)	164	-	1.9	2.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-73,632			
純損益	-73,632			
累積欠損金	203,514			
経常収支比率	91.2		98.7	97.7
医業収支比率	84.3		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	15.7		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	17.0		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	15.7		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	77.0		86.8	76.6

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	413,111
1 固定資産	282,070
(1) 有形固定資産	281,487
(2) 無形固定資産	583
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	131,041
(1) 現金及び預金	32,771
(2) 未収金及び未収収益	94,933
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	3,337
3 繰延資産	-
負債合計	318,316
1 固定負債	38,158
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	31,457
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	6,701
2 流動負債	185,418
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,082
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,506
(6) リース債務	4,803
(7) 一時借入金	120,000
(8) 未払金及び未払費用	26,027
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	94,740
(1) 長期前受金	236,157
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	141,417
資本合計	94,795
1 資本金	-
2 剰余金	94,795
(1) 資本金剰余金	298,309
(2) 利益剰余金	-203,514
負債・資本合計	413,111
不良債務	48,295
実質資金不足額	48,295
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	203,358	120,000
資本勘定繰入	1,541	1,541
計	204,899	121,541

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	48,295	6.8
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	28.8
健全化法上の資金不足額（千円）	14,986
健全化法上の資金不足比率（%）	2.1
地財法上の資金不足額（千円）	14,986
地財法上の資金不足比率（%）	2.1

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	川崎町
		病院名	町立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	16,789	
決算規模(千円)	9,849,287	
標準財政規模(千円)	4,852,711	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	61.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	31,523			
1 経常収益	31,523			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	31,523			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	31,523			
2 経常費用	31,523			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	58.9
材料費	-	-	24.1	18.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	7.4
減価償却費	-	-	9.0	9.6
経費	-	-	23.3	30.8
(うち委託料)	-	-	10.8	12.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	31,523			
(うち支払利息)	31,523	-	1.9	2.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	98.1
医業収支比率	-		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	83.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	公立八女総合病院企業団
	病院名	公立八女総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	21,147 m ²	指定病院の状況	救臨が地輪
診療科数	29	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	300	75.4	83.7	89.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	75.4	83.7	89.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	14.6	15.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.6
修正医業収支金額(千円)	8,029,538

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,854,576			
1 経常収益	8,854,576			
(1) 医業収益	8,092,984			
入院収益	4,256,758			
外来収益	3,680,626			
診療収入計	7,937,384			
その他医業収益	155,600			
(うち他会計負担金)	63,446			
(2) 医業外収益	761,592			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	183,993			
(うち長期前受金戻入)	9,455			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,597,916			
2 経常費用	9,597,916			
(1) 医業費用	8,674,026			
職員給与費	3,842,783	47.5	54.5	55.3
材料費	2,789,521	34.5	24.1	24.2
(うち薬品費)	2,051,999	25.4	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	681,875	8.4	11.0	11.5
減価償却費	630,601	7.8	9.0	8.8
経費	1,380,919	17.1	23.3	21.7
(うち委託料)	765,859	9.5	10.8	10.3
研究研修費	25,426			
資産減耗費	4,776			
(2) 医業外費用	923,890			
(うち支払利息)	131,246	1.6	1.9	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-743,340			
純損益	-743,340			
累積欠損金	480,057			
経常収支比率	92.3		98.7	97.6
医業収支比率	93.3		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	2.8		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	3.1		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	2.8		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	89.7		86.8	86.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,285,368
1 固定資産	9,140,663
(1) 有形固定資産	9,131,007
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	9,656
2 流動資産	7,144,705
(1) 現金及び預金	2,017,015
(2) 未収金及び未収収益	1,477,596
(3) 貸倒引当金()	1,164
(4) 貯蔵品	195,435
3 繰延資産	-
負債合計	7,842,543
1 固定負債	5,535,951
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,330,010
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,195,518
(7) リース債務	10,423
2 流動負債	1,992,482
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	551,601
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	147,507
(6) リース債務	7,177
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,211,877
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	314,110
(1) 長期前受金	508,555
(2) 長期前受金収益化累計額()	194,445
資本合計	8,442,825
1 資本金	8,069,959
2 剰余金	199,189
(1) 資本金剰余金	374,887
(2) 利益剰余金	-175,698
負債・資本合計	16,285,368
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	366,852	247,439
資本勘定繰入	312,961	319,055
計	679,813	566,494

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	公立八女総合病院企業団
	病院名	みどりの杜病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,418 m ²	指定病院の状況	
診療科数	1	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	30	61.2	37.1	63.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	61.2	37.1	63.2
平均在院日数(一般病床のみ)		42.5	55.0	43.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.6
修正医業収支金額(千円)	321,864

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	334,365			
1 経常収益	334,365			
(1) 医業収益	321,864			
入院収益	298,432			
外来収益	19,943			
診療収入計	318,375			
その他医業収益	3,489			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	12,501			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,338			
(うち長期前受金戻入)	3,132			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	404,838			
2 経常費用	404,838			
(1) 医業費用	399,192			
職員給与費	282,728	87.8	54.5	74.7
材料費	20,672	6.4	24.1	18.8
(うち薬品費)	9,285	2.9	12.6	11.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	5,446	1.7	11.0	6.4
減価償却費	29,885	9.3	9.0	12.5
経費	64,601	20.1	23.3	38.3
(うち委託料)	25,000	7.8	10.8	15.7
研究研修費	1,306			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	5,646			
(うち支払利息)	-		1.9	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-70,473			
純損益	-70,473			
累積欠損金	70,473			
経常収支比率	82.6		98.7	96.6
医業収支比率	80.6		89.5	68.6
他会計繰入金対経常収益比率	0.4		12.0	30.8
他会計繰入金対医業収益比率	0.4		14.0	45.9
他会計繰入金対総収益比率	0.4		12.3	30.5
実質収益対経常費用比率	82.3		86.8	66.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,285,368
1 固定資産	9,140,663
(1) 有形固定資産	9,131,007
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	9,656
2 流動資産	7,144,705
(1) 現金及び預金	2,017,015
(2) 未収金及び未収収益	1,477,596
(3) 貸倒引当金()	1,164
(4) 貯蔵品	195,435
3 繰延資産	-
負債合計	7,842,543
1 固定負債	5,535,951
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,330,010
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,195,518
(7) リース債務	10,423
2 流動負債	1,992,482
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	551,601
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	147,507
(6) リース債務	7,177
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,211,877
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	314,110
(1) 長期前受金	508,555
(2) 長期前受金収益化累計額()	194,445
資本合計	8,442,825
1 資本金	8,069,959
2 剰余金	199,189
(1) 資本金剰余金	374,887
(2) 利益剰余金	-175,698
負債・資本合計	16,285,368
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,771	1,338
資本勘定繰入	-	-
計	1,771	1,338

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。